

平成22年度事業計画について

平成22年度は、当財団がJTBと共同で日本丸メモリアルパークの指定管理者となって5年間の最終年度であり、次期公募で再度指定を受けることが財団の活動において、最重要課題となります。また、横浜市の外郭団体として、新公益法人改革の一環として、新公益財団法人を目指して、着実に手続きを進めていく必要があります。

このように平成22年度は、当財団にとって節目の年であり、指定管理者として横浜市との協約目標の達成はもちろんのこと、それぞれの事業内容を見直し再評価し、公益的使命の自覚と実現に努めてまいります。

I 帆船日本丸進水80周年及び公開25周年記念事業

平成22年1月27日に帆船日本丸が80回目の進水記念日を迎えました。また4月には、横浜で現在の1号ドックに係留し、一般公開を始めて25周年となります。

そのため、今年度は下記のとおり記念事業を行ない、多くの市民や港湾関係団体等と共にお祝いし、帆船日本丸とリニューアル1周年の横浜みなと博物館を積極的にアピールしていきます。

平成22年 日程	行 事 内 容 <場 所>
1月27日～ 12月28日	進水記念日より22年末まで 入館料80才以上無料 (実施中)
3月2日～ 6月30日	80周年を共に迎える氷川丸との共同イベントの開催 (スタンプラリーの実施と共通券の販売)
4月24日～ 6月13日	企画展「帆船日本丸と世界の港展」 <横浜みなと博物館特別展示室にて>
4月29日	「帆船日本丸公開25周年記念式典」 <日本丸メモリアルパークにて>
〃	「記念誌」の発行・配布
4月29日～11月	「80周年祝い飾り」 <帆船日本丸にて>
4月29日～11月	「帆船日本丸80周年の航跡」の展示 <帆船日本丸内にて>
7月17日～ 8月1日	帆船日本丸Tシャツ公募展(仮称) <横浜みなと博物館特別展示室にて>

II 帆船日本丸事業

1 帆船日本丸保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

(1) 日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト・ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- ④ 船体外板清掃
- ⑤ 木甲板補修
- ⑥ その他

(2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施します。

- ① 中間検査受検工事
- ② 木甲板一部更新
- ③ 清水タンク開放点検整備
- ④ 非常用発電機関点検整備
- ⑤ 消防設備の一部更新
- ⑥ 排水設備の一部更新
- ⑦ その他

(3) 災害防止

- ① 観覧者及び総帆展帆協力者・甲板清掃協力者の安全の確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて
24時間体制で集中監視を実施

(4) 今後の維持保存の取り組み

平成22年2月、横浜市が、専門家、学識経験者及び市民代表等による「帆船日本丸保存活用検討委員会」を発足させました。計画では平成22年夏頃まで同会を開催し、検討結果が示される予定です。

船齢80年を迎えた船体各所の傷みは深刻なものとなっています。また、昭和59年の公開開始に備え更新した機器類も25年が経過し、耐用年数が迫っており、日常の保守整備が一部困難な状況となっています。お客様やボランティアの皆様の安全を確保するために、引き続き港湾局担当部課と予算や工期等協議調整しながら船体整備を実施する必要があります。

前述の検討委員会の結果を踏まえ、帆船日本丸の保存と活用方針を

確立していく予定です。

2 帆船日本丸公開事業

船内を年間290日程度一般公開しています。昨年からガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、事業のサービスの向上に努めています。また、総帆展帆や満船飾を行い事業を充実させています。

また、年間を通して広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めます。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 ・月曜日 (祝日にあたる時は公開、翌日が休館日) ・年末 12月29日から12月31日まで ・2月初旬から2月下旬まで船体整備のため休館の予定
公開時間	午前10時～午後5時
観覧料	帆船日本丸・横浜みなと博物館共通 おとな(高校生以上) 600円(500円) こども(小・中学生) 300円(200円) *()内は20人以上の団体料金

(2) 総帆展帆

総帆展帆協力者の協力を得てセイルを張った美しい姿をより多くの市民に見ていただくとともに、日本丸メモリアルパーク内の賑わい創出を図ります。

総帆展帆実施予定日

4月11日(日) 4月29日(木) 5月30日(日)
6月13日(日) 6月27日(日) 7月19日(月)
8月8日(日) 9月5日(日) 9月26日(日)
10月10日(日) 10月24日(日) 11月7日(日) 計12回予定

(3) 満船飾

祝日及び開港記念日には満船飾を実施し、華やかさをより演出します。

満船飾実施予定日

4月29日(木) 5月3日(月) 5月4日(火)
5月5日(水) 6月2日(水) 7月19日(月)
9月20日(月) 9月23日(木) 10月11日(月)
11月3日(水) 11月23日(火) 12月23日(木)
1月10日(月) 3月21日(月) 計14回予定

(4) 総帆展帆協力者の養成

平成22年3月現在、総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティアは2,236名にのぼります。毎回の総帆展帆に約100名の参加がありますが、今後も継続して事業を実施していくために、一般市民から協力者を募集し養成します。

(5) 帆船日本丸船内ガイド

社団法人海洋会横浜支部及び社団法人全日本船舶職員協会横浜支部の協力を得て、帆船日本丸に乗船経験のある元船長・機関長を中心としたガイドボランティアによる船内ガイドを実施しています。

平成22年3月現在、ガイドボランティアとして協力いただいている方は35名で、平日は2名、土日祝日は3名体制で、希望するお客様に船内を案内し、公開事業のサービスの向上に努めます。

3 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練などを行うことにより海、船、港に関する知識を学ぶ教育施設です。また、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。

帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図ります。

(1) 海洋教室の概要

① 目的

帆船日本丸での規則正しい団体生活を通じて青少年にたくましい体力と精神力そして協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図ります。

② 対象

小学生以上（1日コースおよび宿泊コースは4年生以上）

③ 内容等

種 類	内 容	募集予定数
半日・1日 コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、結索訓練	600人
宿泊コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、手旗訓練、避難訓練、船長講話、結索訓練、カッター訓練	800人

(2) 海洋教室の実施計画

平成22年度は、市内小学校の宿泊コースを積極的に受け入れると

ともに、26年目を迎える「よこはまこどもマリンスクール」や23回目となる「横浜市工業会連合会新入社員合同研修会」など、継続して利用いただいている団体を引き続き受け入れます。

4 教育普及事業

帆船日本丸を活用して、その魅力と帆船の文化を知ってもらうため次の事業を行います。

(1) 総合学習の受入

総合学習の一環として体験学習や課外活動を積極的に受け入れます。

(2) 帆船日本丸清掃体験と船内見学

椰子の実を使って甲板を清掃する甲板みがきや、真鍮製品の手入れをする真鍮みがき等を体験してもらうとともに、職員の案内で船内見学を行います。

5 その他

(社) 横浜港振興協会主催の横浜港カッターレースに協力し、カッターの貸し出し等設備の提供のほか、参加者の安全確保や競技の進行を補助する目的で職員を派遣します。

また、同時に開催される小学生カッターレースにあたっては、事前にカッターとう漕の初期導入指導を行うとともに、海事知識の指導を併せて実施し、海事思想の普及に努めます。

Ⅲ 横浜みなと博物館事業

1 常設展示事業

全面リニューアル2年目を迎え、小学生から大人、ファミリーまでが興味をもって楽しめる展示であることをアピールし、リピーターを確保するとともに新しい入館者の増加に努めます。そのために小学生向けに、見学の手引きとなり学習にも役立つワークシートの作成等をし、展示への理解を深めさせ、利用促進を図ります。

高校生以下無料の土曜日には、子ども向けの参加型事業を実施して、入館者の拡大に努めます。また、昨年末に導入した展示ガイドボランティアによる案内等で入館者サービスをより充実させます。

また、展示を良好な状態に保ち、常に魅力あるものにしておくため、メンテナンスを行います。

総合案内所では、当施設の案内及び誘導に加え、周辺観光の紹介などのサービスの充実を図ります。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 毎週 月曜日（祝日にあたる時は公開し、翌日が休館日） 年 末 12月29日～12月31日 燻蒸期間 1月31日～ 2月 4日
公開時間	帆船日本丸に同じ
観覧料	帆船日本丸と共通券 帆船日本丸が船体整備中は横浜みなと博物館単独券を発行 企画展等、展覧会の期間中は展覧会単独券を発行

(2) 展示の案内

①昨年秋に市民による展示案内ボランティアを募集し、12月からスタートしました。現在17名の方に協力していただき、土・日ともに2人体制で、入館者へのフレンドリーな案内を行っています。引き続きボランティア体制の拡充を図っていきます。

②小学校の団体見学に対するサポートとして、見学の手引きとなるワークシートを作成、配布します。

(3) 保守

常設展示にはコンピューター、DVDなどを複合的に組合せた映像展示や体験展示、大型実物資料などがあるため、職員による日常的な保守および軽微な復旧のほか、専門業者による保守点検、清掃を実施します。このほか、故障した展示物の修理、補修を適宜行い、展示品の良好な維持管理を図ります。

2 特別展示事業

横浜みなと博物館を常に生きた博物館とし、多くの入館者に来ていただくため、常設展示のテーマをより深めたものや常設展示では扱えなかったテーマ、調査研究の成果に基づいたテーマ等について企画展を開催します。

平成22年度は4月と7月に帆船日本丸進水80周年・公開25周年を記念した展覧会と公募展、夏休みには(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)の協力を得た「深海探査」をテーマとする展覧会、10月には歌謡曲や映画、小説から横浜港の姿をさぐる企画展を開催します。また12月には平成21年度に続き市民からの写真募集による帆船日本丸の写真展を行います。

展覧会名	会期
帆船日本丸進水80周年・公開25周年記念 帆船日本丸と世界の港展	4月24日～6月13日
帆船日本丸進水80周年・公開25周年記念 帆船日本丸Tシャツ公募展(仮称)	7月17日～8月1日
横浜から海を学ぶ・深海の世界展(仮称)	8月7日～8月29日
歌、映画、小説の中の横浜港	10月9日～11月23日
帆船日本丸 第2回 公募写真展	12月18日～1月22日
横浜港を結ぶ交通一渡し船から臨港鉄道ができるまで一	2月19日～4月10日

3 教育普及事業

船や港、海に関する市民の興味や関心、そして学習を深めるため次の事業を行います。今年度は、春は日本丸の展覧会にあわせたペーパークラフト教室、夏は小学生向け観察会や船の工作教室、秋は大人向けに企画展関連の映画会やロケ地散歩などを行います。

また、毎週土曜日に子ども向け事業を実施します。

(1) ペーパークラフト教室 ※新規事業

展覧会「帆船日本丸と世界の港展」に併せて、大人向けとこども向けの帆船日本丸のペーパークラフト教室を開催します。

(2) 学芸員体験講座ー博物館で働くー

高校生以上の大人向け講座です。博物館の裏側の見学や、実際の学芸員の仕事を体験します。

(3) ポートウォッチング

小中学生を対象に横浜港に出かけて、港の施設や船の様子を観察し観察表を作成します。

(4) 親子の海図教室

ワークショップを通じて海図について知り、親しみます。

(5) 船の工作教室

小学生を対象に船に親しみ、船の形と機能を理解するため、ゴム、モーター、ソーラーによって実際に動く船の模型を作ります。

今年度はろうそくの炎で動くポンポン船をつくる工作教室(※新規事業)も開催します。

(6) 企画展 港の映画会 ※新規事業

企画展「歌、映画、小説の中の横浜港」に併せて、横浜港を舞台にした劇映画を上映します。

(7) 企画展 ロケ地散歩 ※新規事業

企画展「歌、映画、小説の中の横浜港」に併せて映画や小説などの舞台になった横浜港とその周辺をめぐるります。

(8) なるほど！ミナト散歩

学芸員や関係機関の人の案内で横浜港内をめぐるり、港の歴史や現状を学びます。

(9) コンテナターミナル見学会 ※新規事業

コンテナターミナルの機能やコンテナが港で積みおろしされている様子を見学します。

(10) 船の見学会

親子一緒に参加して横浜港内に停泊中の巡視船あるいはクルーズ客船などに乗船し船内を見学します。

4 調査・研究・収集・出版活動事業

(1) 資料調査・研究等事業

横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を広く公開するとともに、展示や教育活動に反映させます。また、今年度から資料整理のデータベース化を進めます。

(2) 出版活動

企画展に合わせた図録等を出版します。

(3) 資料貸出し・レファレンス

資料の貸出しや閲覧、問合せ、照会等レファレンスサービスを行います。

5 ライブラリー事業

横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理、公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供します。また、リニューアルにともないデータベース化した約2万冊の蔵書情報を公開します。

(1) 公開日・公開時間

博物館の公開時間と同じ。

(2) 利用方法

博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを行います。また蔵書のパソコン及びホームページから検索できるようにして、利用者の利便を図ります。

(3) 収集・整理

横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集、整理して配架します。また図書のデータベース化を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持します。

6 その他

(1) 総合学習等の受入

総合学習や職業体験の一環として体験学習を受け入れます。

(2) アウトリーチ活動

周辺区の教育事業への出張講義など館外での活動を行います。

(3) 博物館学芸員資格取得を目指す大学生の博物館実習を受け入れます。

IV 緑地及び研修施設事業等

日本丸メモリアルパークの入口4箇所に大きなサインボックスを設置し、パーク内への導線をわかりやすくするとともにイベント情報等の告知を掲載し、情報発信の拠点の一部としました。

港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全管理と環境を維持するとともに、有効活用を図るため、次の事業を行います。

1 緑地の維持管理・活用

(1) 安全管理・美化

緑地等での安全管理、景観・保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が快適に過ごせる空間を提供します。

(2) 撮影

休館日にも緑地での日本丸の撮影などの使用を可能とすることなどにより利用促進を図ります。

(3) 催事

緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出します。

2 研修施設（訓練センター）の管理運営

平成22年3月中に教室内で使用する机・椅子を改修および更新し、利用者が快適に利用できるようにいたします。

今後、海洋教室やイベントでの利用以外の一般利用の促進を図るため、利用料金が低廉であること、桜木町駅に近くアクセスが良いこと等ホームページ等利用した広報宣伝を積極的に進めてまいります。

3 シーカヤック体験教室の開催 ※新規事業

みなとみらい21地区の水際線に位置し港湾緑地である日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車側静水域においてシーカヤック体験教室を開催し、市民参加の海洋性レクリエーション・海洋スポーツの普及を通じてインナーハーバーの賑わいを創出していきます。

4 新港地区11-2暫定駐車場管理運営事業

新港地区への来街者のため、横浜市から賃貸し時間貸駐車場を運営しておりますが、横浜市へ一部返還する必要が生じたので、規模を縮小し、運営します。

これに伴い、今後出入口の位置の変更等の工事を行います。

V 集客・プロモーション事業

今年度は、帆船日本丸公開25周年、進水80周年を活動の軸に、昨年度以上の集客増をめざします。特に、学校をはじめとするリピーター対策を徹底し、団体来館者数の昨年度対比120%増をめざします。

1 旅行会社への取組み

- (1) JTB企画商品「Let's JTB職業体験コース」による半日海洋教室、JTB宿泊プラン「エースJTB」での日本丸ステイクーポン、JTBインターネット観光情報サイト「るるぶ.com」での施設掲載等を通して、修学旅行生、一般観光客の集客を行います。また、修学旅行等で神奈川エリアを多く訪れる東北、中部地区をはじめとするJTB各支店への働きかけを強化し、より一層の県外学校の来館を実現します。
- (2) はとバスの定期観光コース継続に伴い、職員のお出迎えなどサービスの向上に努めます。また、日本丸が休館のためコースが中断した2月には、館内ガイド等のサービスを改善し、博物館見学コースの再開をめざします。
- (3) 毎年一定の送客実績のある県下旅行会社への訪問、情報発信を強化し地元小学校、一般団体客のより一層の来館を促進します。
- (4) 昨年度、送客実績のある県外の旅行・バス会社への訪問、ダイレクトメール等による情報発信を強化し、引き続き施設への送客を促進します。

2 学校への利用促進の取組み

- (1) 横浜市内小学校：市内全小学校へPR資料を送付し、リピーターを増やします。同時に見学実績のない学校への訪問営業を強化し、見学校の増加をめざします。また、校長会、社会科研究会でのPR、教員向けツアーを継続して行います。
- (2) 例年9月～10月に横浜市教育委員会で実施する「ふれあいコンサート」鑑賞時の、市内小学校への昼食場所の提供を行い施設見学を促進します。
- (3) 県下小学校：市内小学校同様、県下全小学校へ、PR資料を送付し、リピーターを増やします。また、来館実績の少ないエリアを中心に、訪問営業を行い、見学校の増加をめざします。

- (4) 児童向けの博物館ワークシートを作成し、有効な営業ツールとしてPR資料等に活用します。また、小学校4年生～6年生学年別、校外学習コース案を作成し、来館を促進します。

3 横浜市・近隣施設への取組み

- (1) 西区・中区をはじめ各区の市民活動支援センター利用団体等へのPR、割引等を行い施設の認知度向上および来館を促進します。
- (2) 西区・中区を中心に各子育て支援拠点への施設PR、割引等を行い来館を促進します。
- (3) 閑散期に近隣区を中心に区民デーを設定し、各区民向けの割引等を行い、来館を促進します。
- (4) 園児向けの企画等を立案し、近隣の幼稚園、保育園へのPRを行い、イベント参加、継続的な来館をめざします。
- (5) 近隣ホテルへ、イベント、企画展情報等を適時告知し、宿泊客の来館を促進します。

4 広報・宣伝活動

(1) ホームページ

平成21年度のリニューアルに伴い、イベントカレンダーを作成、閲覧者の関心の高い総帆展帆日をわかりやすく表示し、利便性を高めたため、アクセス数も増加しております。平成22年度は日本丸進水80周年、横浜公開25周年の年であり、関連イベントなどの情報を適時発信し、閲覧者の来館を促進します。また、携帯WEBサイト導入に向け検討を行っていきます。

- (2) みなとみらいSP推進委員会と連携し、広報誌「ミレア」での施設イベント紹介、およびクリスマスイベント等の合同キャンペーンに参加し賑わいづくりに努めます。

- (3) 横浜市政記者会をはじめ、引き続き、新聞等マスコミへ適時イベントなどの情報を発信し、市民の方の来館を促進します。また、JTB旅行雑誌「るるぶ」などパブリシティ効果の高い旅行雑誌、タウン誌への掲載を増やします。

5. 日本丸メモリアルパークでのイベントの開催

- (1) 帆船日本丸公開25周年を迎え、4月29日（祝）に記念式典を開催し市民の方とお祝いを行います。また、「記念誌」を作成し式典参加者等へ配布します。
- (2) ゴールデンウィークの時期に音楽ステージ等のイベントを開催し、市民の方や観光客が楽しめる参加型のイベント・出展ブースで、より賑わいづくりを行います。
- (3) 吹奏楽コンサート
横浜吹奏楽連盟および神奈川県職場・一般吹奏楽連盟の主催、後援で吹奏楽コンサートを年間14回（予定）開催します。
- (4) フリーマーケット
市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で緑地を活用したフリーマーケットを年間15回（予定）開催します。
- (5) サマーナイト帆船日本丸
8月中旬頃、平成22年度で3回目となる音楽ライブを開催します。また、帆船日本丸と横浜みなと博物館の公開を延長します。
- (6) ロックヤード・ライブ・エクストラ・アット・日本丸
ドックヤード2号デッキで開催されている音楽ライブを、アリーナでも定期的に行い賑わいづくりに努めます。
- (7) クリスマスナイト帆船日本丸
クリスマスの時期に帆船日本丸、アリーナ内をイルミネーションなどで演出するとともに、夜間の特別公開を行います。
- (8) 帆船日本丸進水記念日
1月27日に、帆船日本丸の誕生日を祝うイベントを行います。

VI 来館者へのサービス向上

1 ミュージアムショップの運営

来館者の記念になるような帆船日本丸や帆船関係等の記念グッズに加え、帆船日本丸チョロQを始めデザイン募集したTシャツの制作等の新商品開発に努め、魅力ある品揃えをして収益確保に努めていきます。

2 ミュージアムカフェの運営

カフェについては、気楽に立ち寄れ、帆船日本丸を眺めながらゆっくり休憩できるカフェスタイルをJTBが運営いたします。

3 リピーター対策や支援団体等

(1) 社会科授業をはじめ、海洋教室、工作教室等多くの行事の参加者が何度も博物館を訪れてくれるよう、年間パス、優待券の発行を検討し、リピーター対策を進めてまいります。

(2) 日本丸友の会の活動

帆船日本丸を通じて港や海に親しむ方たちの集まりである友の会は、会報『ヤード』発行や各種行事の協力など財団事業を広く支援する活動を実施しています。

VII 取り組むべき重点課題について

1. 次期指定管理者公募に向けて

この間の25年の実績を踏まえ、2期目となる次期指定管理者を受けられるべく応募していきます。現在の帆船日本丸の総帆展帆事業が多くの市民のボランティアの支えで実施できていること、海洋教室の実施等で青少年の育成に寄与していること、横浜みなと博物館及び日本丸メモリアルパークを一体として管理運営し、賑わいづくりに貢献できるのは当共同事業体のみであることを積極的に提案していきたい。

2. 新公益法人制度改革について

新公益財団法人の認定を受けられるべく、理事会、評議員会等の所定の手続きを経た上で、新会計基準に基づき指定管理者公募同様25年間の財団の実績等を前提に、公益、収益事業の区分等会計資料を作成の上、今年秋以降神奈川県へ申請の手続きを進めていきます。